

小

型インテリジェントマイクを採用した 電子目次本「デンモクiDS2」を発売

～第一興商とNTTの共同検討 実用化第一弾～

- 第一興商は、日本電信電話（以下、NTT）と2015年7月より開始した共同検討におけるNTTの先進技術の実用化第一弾として、カラオケユーザーの利便性向上のため、NTTコミュニケーションズ（以下、NTT Com）との協業により、今回NTTの研究所が持つ先進的なノイズ除去技術を活用した小型インテリジェントマイク搭載のカラオケリクエストコマンダー「デンモクiDS2（CM3000）」を2015年12月1日に発売する。

第一興商は、業務用カラオケ事業で培ってきた「DAM」ブランドのさらなる認知とカラオケ店舗への集客を目指して、様々なサービスを拡充してきた。また、「うたと音楽」を用いて介護予防、健康増進に取り組み、全国の介護施設や公民館等17,500ヶ所以上に導入されている生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」の普及促進を図っている。

一方、NTTは、クラウドやセキュリティ、各種センサ等の先進的な研究開発成果を有し、健康・医療・介護の共通基盤を中心としたICT環境の整備による疾病予防や医療介護の効率化・質の向上を目指して地域医療連携や地域包括ケアの実証トライアルや実導入に取り組んできた。

そこで、第一興商とNTTは、高齢者向けのサービス分野において、DKエルダーシステムのサポート機能の高度化を図り、「うたと音楽」を通して、高齢者が介護予防や健康増進に向けた取組みが図れる環境づくりの共同検討を行っている。

また、世界の情報通信をリードす

る研究開発に取り組むNTTのメディア処理技術等の先進的なICTに関する成果をカラオケサービスに取り入れることを共同で検討してきた。

その共同検討におけるNTTの先進技術の実用化第一弾として、NTT ComのクラウドサービスであるEnterprise Cloudを活用した協業により、カラオケユーザーの利便性向上につながる技術を新商品「デンモクiDS2」に搭載することになった。

「デンモクiDS2」では、NTTの研究所が開発した小型インテリジェントマイクを採用することにより、カラオケを利用中の環境においても音声認識によるカラオケ楽曲の検索機能が格段に向上した。

小型インテリジェントマイク*1とは、100dBの騒音下でも、高品質な通話や高精度な音声認識を可能にする技術だ。安価な汎用のマイク素子2～3個と、目的とする音声とそれ以外の雑音を高精度に推定して分離する「音響信号処理技術」を組み合わせることで、高騒音環境下でも、話者の音声を明瞭に集音できる。

この先進的技術を「デンモクiDS2」に採用することで、カラオケを利用中の環境においても音声認識*2による楽曲の検索機能が格段に向上し、カラオケユーザーの利便性がさらに高まった。

従来機デンモクiDSの機能をベースに、SmartDAMと同様のタブレット端末ならではの滑らかな操作感を実現した。

*1 NTTの研究所が開発した小型インテリジェントマイクは、NTTアドバンステクノロジーより高騒音対応集音ソフトウェア「インテリジェントマイクライブラリ」として2014年10月より提供を開始している。

*2 第一興商の音声認識を搭載したデンモクiDS2には、NTT研究所が開発した音声認識技術を活用したソフトウェア「SpeechRec」（NTTアイティ製品）が、NTT ComのクラウドサービスEnterprise Cloudを利用して提供されている。

●お問い合わせ先●

第一興商株式会社 広報担当
TEL：03-3280-2100
NTT 研究企画部門
TEL：03-6838-5386
NTT Com 経営企画部
TEL：03-6700-4010